

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

	この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
--	------------------------------------

	この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。
--	--

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
--	------------------------

	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
--	---------------------------

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせします。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、通信総合研究所が運用している電波です。標準時の信号は、通信総合研究所の維持する国家標準により常に高い精度に保たれています。

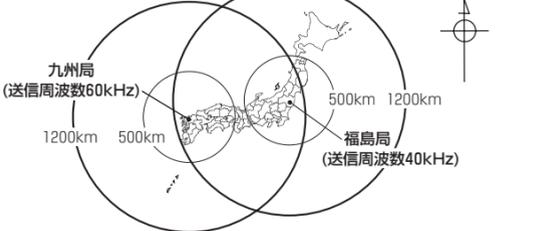
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。

標準電波の詳細については、通信総合研究所のホームページをご覧ください。(http://jjy.crl.go.jp)

電波の受信範囲について

条件のよい時は、送信所から約1200km離れた場所でも受信可能と想定されます。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

■誤飲による事故防止について

	付属部品（掛金具、ねじなど）、小形の電池（ボタン形、コイン形および単4形、単5形など）は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
---	---

■アルカリ電池について

	●電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。
---	--

■電池について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。

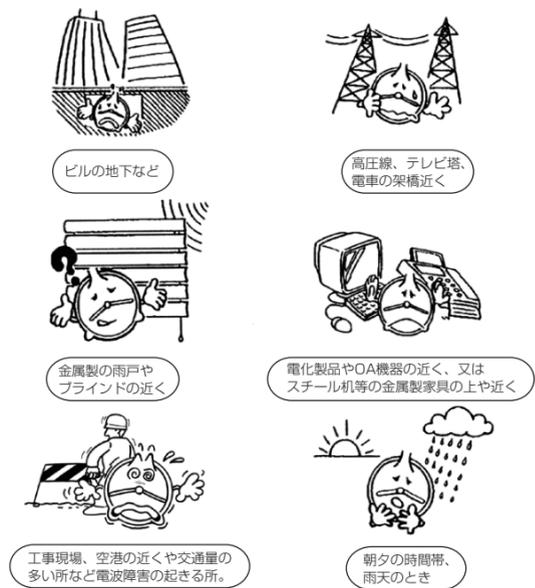
- ＋(プラス)、－(マイナス)を逆に入れてください。
- 新しい電池と使用した電池や種類の異なる電池の混用はしないでください。
- 指定された電池を使用してください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、すべて新しい電池とお取りかえください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落としてから入れてください。

	分解したり改造しないでください。故障の原因になります。
---	-----------------------------

	
---	--

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合があります。



※受信範囲内であっても、置き場所、時計の向き、地形や建物の影響などの環境条件では受信できない場合があります。

※電波障害により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示することがあります

■使用場所について

下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が＋50℃（50度）以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が－10℃（氷点下10度）以下になる所。（プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。）
- ほこりが多く発生する所。（空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まることがあります。）
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。（磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。）
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 浴室など、湿気の多い所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。（霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。）
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

	
---	--

	
---	--

	
---	--

液晶には毒性が含まれていますので、破損等でもれた液には直接ふれないようにしてください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品は、お買い上げ販売店がご用意いたします。

●修理部品の保有について

この時計の修理用**性能部品**（電子回路）は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、**外装部品**（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。なお、都合により商品を現品交換させていただく場合もあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

●保証書について

製品仕様

時間精度	●標準電波の受信に成功している場合 表示精度: ±1秒 ●標準電波を受信できない場合 平均月差: ±30秒以内(常温中)
使用温度範囲	－10～＋50℃(0～＋40℃ 液晶表示可視範囲)
使用電池	1.5V 単2形アルカリ乾電池（JIS規格 LR14）2本
電池寿命	約1年間(1日にアラーム30秒、自動照明を8時間使用したとして)
機能	●時計機能：12/24時間制切り替え ●カレンダー機能：西暦(2003～2099年)、月、日、曜日 ●目覚まし音：電子音 ●目覚まし鳴り時間：約2分間(アラームオートストップ機能) ●スヌーズ機能：スヌーズ間隔 約5分間(7回まで) ●照明：明暗センサーによりON/OFF または手動による照明 ●自動電波受信：1日 午前 4回 午後 4回 自動受信で1回でも成功すれば その時から24時間電波受信マークは点灯します

●時計に付いている電池は、工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。 ※0℃～＋40℃の範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合がありますが、時計精度には影響ありません。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

お問い合わせについて

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたら**お客様相談室**にお問い合わせください。お買い上げの製品に関するお問い合わせにつきましては、この商品の製品番号「**BRZ011**」をお伝えください。

●お問い合わせ先

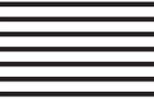
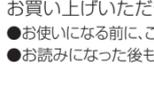
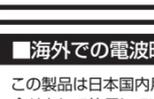
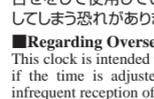
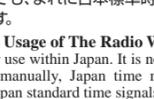
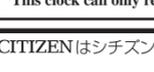
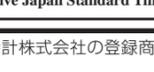
■お客様相談室	フリーダイヤル		0120-557-005
		330-9551	埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12

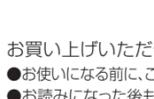
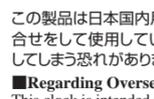
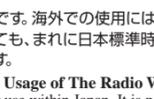
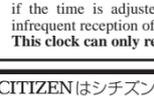
札幌支店	 003-0030	札幌市白石区流通センター1-6-2	 (011) 863-3788
仙台支店	 983-0045	仙台市宮城野区宮城野2-10-36	 (022) 291-3235
東京支店	 130-8551	東京都墨田区錦糸1-2-1	 (03) 5807-7814
名古屋支店	 460-0008	名古屋市中区栄5-19-31	 (052) 264-4581
大阪支店	 542-0081	大阪市中央区南船場2-7-30	 (06) 6264-2388
広島支店	 730-0054	広島市中区南千田東町1-12	 (082) 244-7774
福岡支店	 816-0097	福岡市博多区半道橋1-11-14	 (092) 471-5585

所在地・電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。

	発売元	リズム時計工業株式会社
	本社	 330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12 http://www.rhythm.co.jp

取扱説明書番号 8RZ012-1

■海外での電波時計の使用について

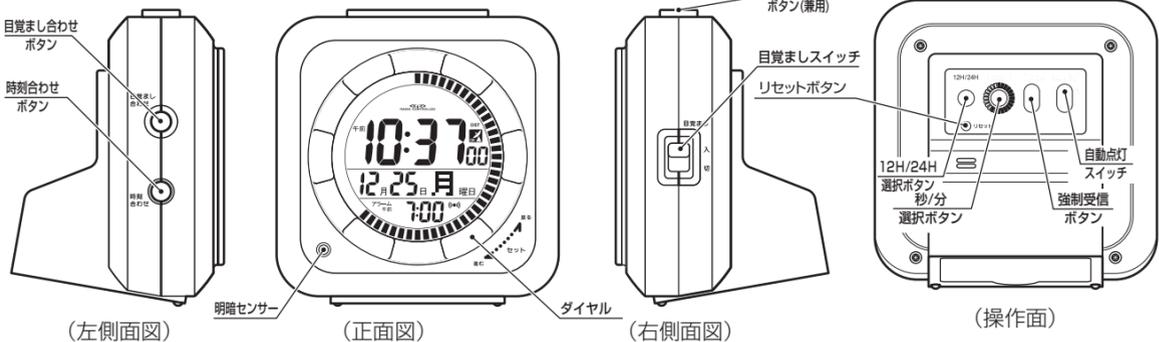
この製品は日本国内用です。海外での使用には適していません。手動で時刻合せをして使用していても、まれに日本標準時を受信し、日本の時刻を表示してしまう恐れがあります。

■Regarding Overseas Usage of The Radio Wave Clock
This clock is intended for use within Japan. It is not suited for overseas use. Even if the time is adjusted manually, Japan time may still be displayed due to infrequent reception of Japan standard time signals.
This clock can only receive Japan Standard Time signals.

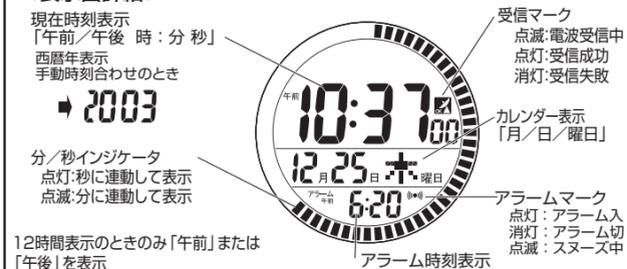
CITIZEN はシチズン時計株式会社の登録商標です。

各部の名称

●図は操作説明用ですので、実際の商品とデザインなどが異なることがあります。

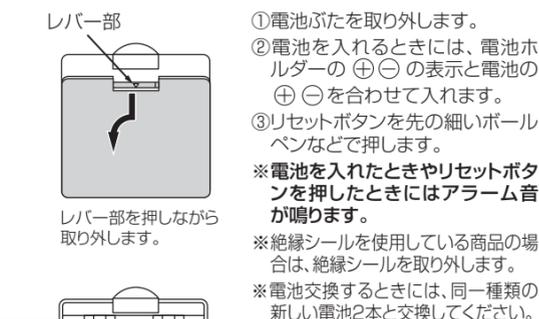


<表示面詳細>



はじめて使うとき、電池を交換するときの操作

1 電池を入れ、リセットボタンを押して受信を開始します(電池を交換するとき)

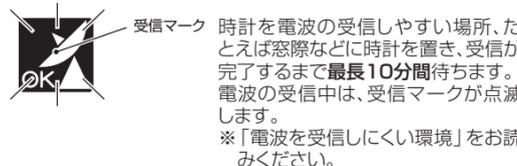


- 電池ふたを取り外します。
 - 電池を入れるときには、電池ホルダーの ⊕ ⊖ の表示と電池の ⊕ ⊖ を合わせて入れます。
 - リセットボタンを先の細いボールペンなどで押します。
- ※電池を入れたときやリセットボタンを押したときにはアラーム音が鳴ります。
※絶縁シールを使用している商品の場合は、絶縁シールを取り外します。
※電池交換するときには、同一種類の新しい電池2本と交換してください。

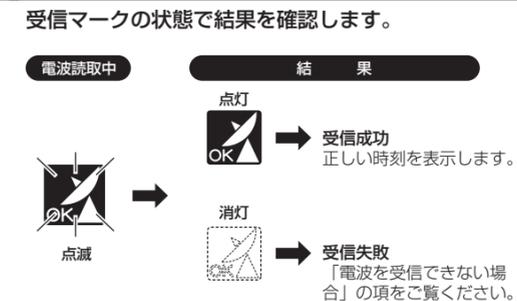
警告
電池の ⊕ ⊖ を入れ間違えた場合、電池の漏液・発熱・破裂の原因となり、人的・物的損害が発生することがあります。

- 電池ふたを取り付けます。

2 受信が完了するまで待ちます



3 電波受信の結果を確認します



アラーム機能の使い方

アラームを使うときの手順

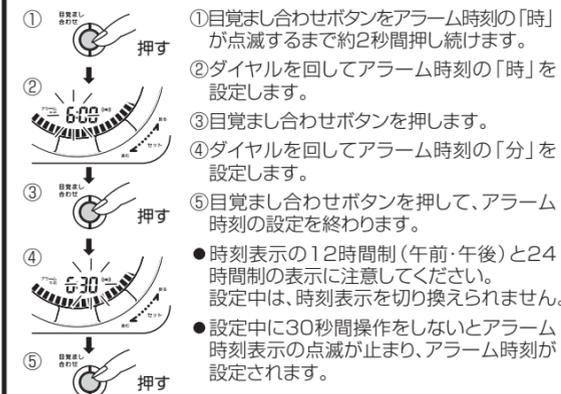
- アラーム時刻を確認または設定します。
- 目覚ましスイッチを「入」にします。

アラーム音について

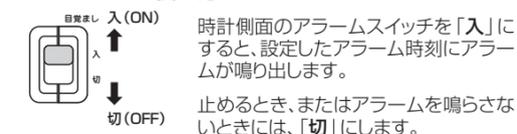
アラーム音の鳴り方は4段階に変化します。

アラーム時刻の設定方法

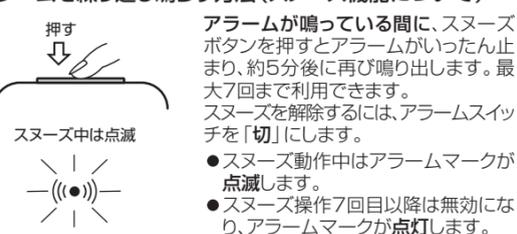
目覚まし合わせボタンとダイヤルを操作することにより、アラーム時刻を設定できます。ダイヤルを操作するときには乱暴に回さないでください。故障などの原因になります。



アラームスイッチの使い方



アラームを繰り返し鳴らす方法(スヌーズ機能について)



アラームの鳴り時間について

アラームは連続して約2分間鳴りつづけると自動的に止まります。(オートアラームストップ機能)
※オートアラームストップした後では、スヌーズ機能は使えません。

アラームが鳴っているときやスヌーズ中のときには、スヌーズ・ライトボタン、自動点灯スイッチおよび目覚ましスイッチ以外のボタン操作はできません。

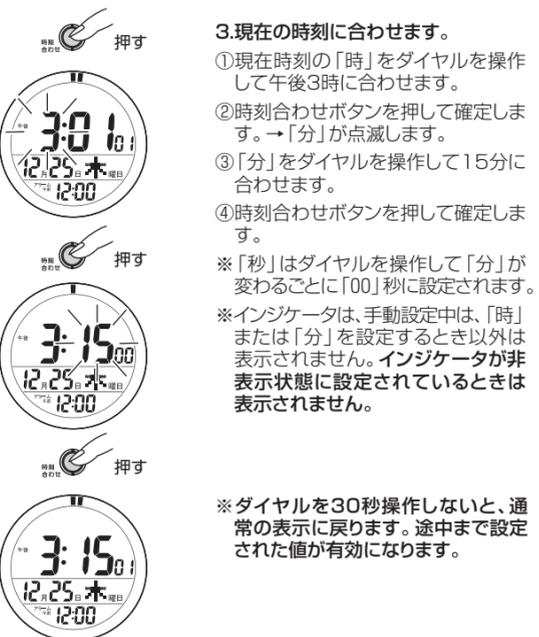
電波を受信できない場合

- 場所を変える
電波の受信しやすい窓ぎわなどに場所を変えて置き直します。このとき、時計正面または裏面が送信所(「電波時計について」の日本地図を参照)に向くようにします。次に、強制受信ボタンを押して、最長10分間そのまま待ちます。置く場所を選ぶときは、「受信しにくい環境」を参考にしてください。
- 朝までそのままにしておく
夜間は電波状況が良くなるので、手で時刻合わせをして、一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

受信できないときは、下記操作でカレンダーと時刻合わせができます

- ※この場合の精度は、平均月差±30秒以内となります。
※手で合わせても、受信に成功すると、カレンダー・時刻は自動的に修正されます。
- 手動での時刻の合わせ方
時刻合わせボタンを約2秒間押しつづけると、手動による時刻合わせができます。
- 西暦年→月→日→時→分の順で設定します。
 - 数値の設定にはダイヤルを「進む」または「戻る」方向に回します。
 - 数値の決定には時刻合わせボタンを1回押します。

例: 2003年12月25日(木)午後3:15分に合わせる場合



スヌーズ・ライトボタンについて

スヌーズ・ライトボタンを押すと約3秒間、表示パネル部を照明します。暗いところでの時刻確認などにお使いください。
※照明したとき、暗いところでは時計の下方から見ると、表示が見えにくくなります。

自動点灯スイッチ(照明)について

時計裏面の自動点灯スイッチを「入」にすると、時計正面の明暗センサーにより、時計周囲が暗くなると時刻表示面が照明され、時計周囲が明るくなると消灯します。「切」にした場合は、スヌーズ/ライトボタンを押したときのみ照明します。
明暗センサーは、時計周囲の明るさを感知しますので、周囲が明るくても、センサーの前に障害物などがあると、暗いと判断し照明します。
※自動点灯中に、ライト/スヌーズボタンを押すと照明がより明るくなります。
※自動点灯中に、電波受信状態になると消灯します。

リセットボタンについて

リセット
電池を入れたときや静電気などで誤動作をしたときには、時計裏面の「リセットボタン」を先の細いボールペンなどで押すことによって初期化して強制的に電波受信を開始します。

- ※リセットボタンを押した場合、または電池を交換した場合
●アラーム時刻を再度設定する必要があります。

12H/24H選択ボタン(表示の切り替え)について

12H/24H選択ボタンを押すと、「午前」または「午後」を表示した12時間制表示と24時間制表示を切り替えることができます。アラームの作動中や時刻などの設定中は切り替えられません。

秒/分選択ボタン(インジケータ表示)について

秒/分選択ボタンを押すことにより、インジケータの表示を秒または分に連動した表示、あるいは非表示に切り替えられます。インジケータは、一般的な針を用いた時計の秒針または分針に相当するものです。アラームの作動中や時刻などの設定中は切り替えられません。

秒表示
秒表示に合わせて、針の位置に相当するところまで、秒に合わせて点滅します。

分表示
針の位置に相当するところまで、分に合わせて点滅します。

強制受信ボタンについて

ボタンを押すことにより、標準電波の受信を行います。アラームの作動中や時刻などの設定中は機能しません。

静電気による誤作動について

静電気により、内蔵されているマイコンが誤作動し、時刻違いなどが発生することがあります。この場合は、時計裏面の「リセットボタン」を押してください。受信が開始されます。アラーム時刻は再設定が必要です。

こんなときには

マークが消えた。
標準電波を受信した後、24時間以上受信に成功しなかったことを意味します。再受信に成功すると点灯します。マークが消えてもクォーツ精度で時計は動いています。

受信できても、テレビやラジオなどの時報サービスと一致しない。
まれに誤受信や時計の修正タイミングにより一致しないことがあります。
対策1. 受信処理などで、±1秒程度の誤差を生じることがあります。これ以上の誤差が生じたときには、強制受信ボタンを押して再受信させてください。
対策2. 電池が消耗すると、遅れ進みの原因になります。新しい電池と交換してください。

目覚ましセットした時刻に鳴らない。
目覚まし時刻または現在時刻の午前と午後が逆になっていませんか? 午前と午後が逆になっている場合は、アラーム時刻を再セットしてください。

電波を受信できていなくても、目覚ましは鳴るのか?
手動で時刻合わせをしておけば、電波を受信できていなくても、クォーツ精度で時計は動いていますので、セットされた時刻に鳴ります。

今まで受信できていたのに、急に受信できなくなった。
標準電波を送信している設備の定期点検や落雷などの影響で停波(送信停止)することがあります。停波に関する情報は「通信総合研究所」のホームページに掲載されています。
ホームページアドレス <http://jijy.crl.go.jp>